

＜白金標準、WPIC、26 トンの供給不足、地上在庫 4 ヶ月半に修正・・・＞



(出所：オアシス)

WPIC 第 2 四半期 PGM 需給報告では、2025 年の総供給量は鉱山供給量が 6%減少する 5 年ぶりの低水準が見込まれ 3%減の 217.8 トンと予測、総需要は中国におけるプラチナ宝飾需要や投資需要が堅調であり、244.1 トンと予測し、2025 年の需給バランス予測は 26.3 トンの供給不足とし、地上在庫は 22%減少の 92.3 トンになると予測し、需要カバーの期間は 4 ヶ月半と予測している。そのため報告では供給不足を再確認したが、第 1 四半期に比べ供給不足が 4 トン改善し、地上在庫も 1 ヶ月半の改善を示しているも、WPIC は「年内についてはプラチナ市場は構造的な供給不足に陥っており、プラチナへの投資は依然として魅力的であり、2025 年は極めて力強い伸びを示すと予測されています」と記載している。

そのため一時的に外的な動きに価格が抑えられたとしても、下値は堅く大きく下落する可能性は低くなっていると思われる。

特に白金標準先物は、NY 白金が 1400 ドルを超えたことから、6200 円を固める値動きを見せており、今月に高値を付けた 6342 円に向けた値動きが強まると思われる。ただ今週の FOMC 以降の金価格の値動きに注意は必要であり、6000 円以下は買い場に思える。

＜テクニカル＞

白金標準先物の週足を MACD と RCI で見た場合は、MACD では **MACD** と **シグナル** が重なり維持している。また RCI では **短期** が上昇し、**長期** は高値を維持している。そのため週足が指数平滑移動平均線を上回るなど強気を維持した状況に思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行ってください。売買の判断はお客様御自身で行ってください。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 1,955,000 円(2025 年 9 月 16 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 81,840 円(2025 年 9 月 16 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター  
<https://www.nisshokyo.or.jp>